

## 第2回・第3回環境・景観部会の報告

### 1 ミッション（前提）

- ・ 移転を伴う地元の住民への細心の配慮。
- ・ 世界的な視点から、沿線都市としての責任を果たす。

### 2 第2回環境・景観部会の内容（要旨）

<日時：平成28年6月23日（木）10:00～ 会場：飯田市役所 C311～313号会議室>

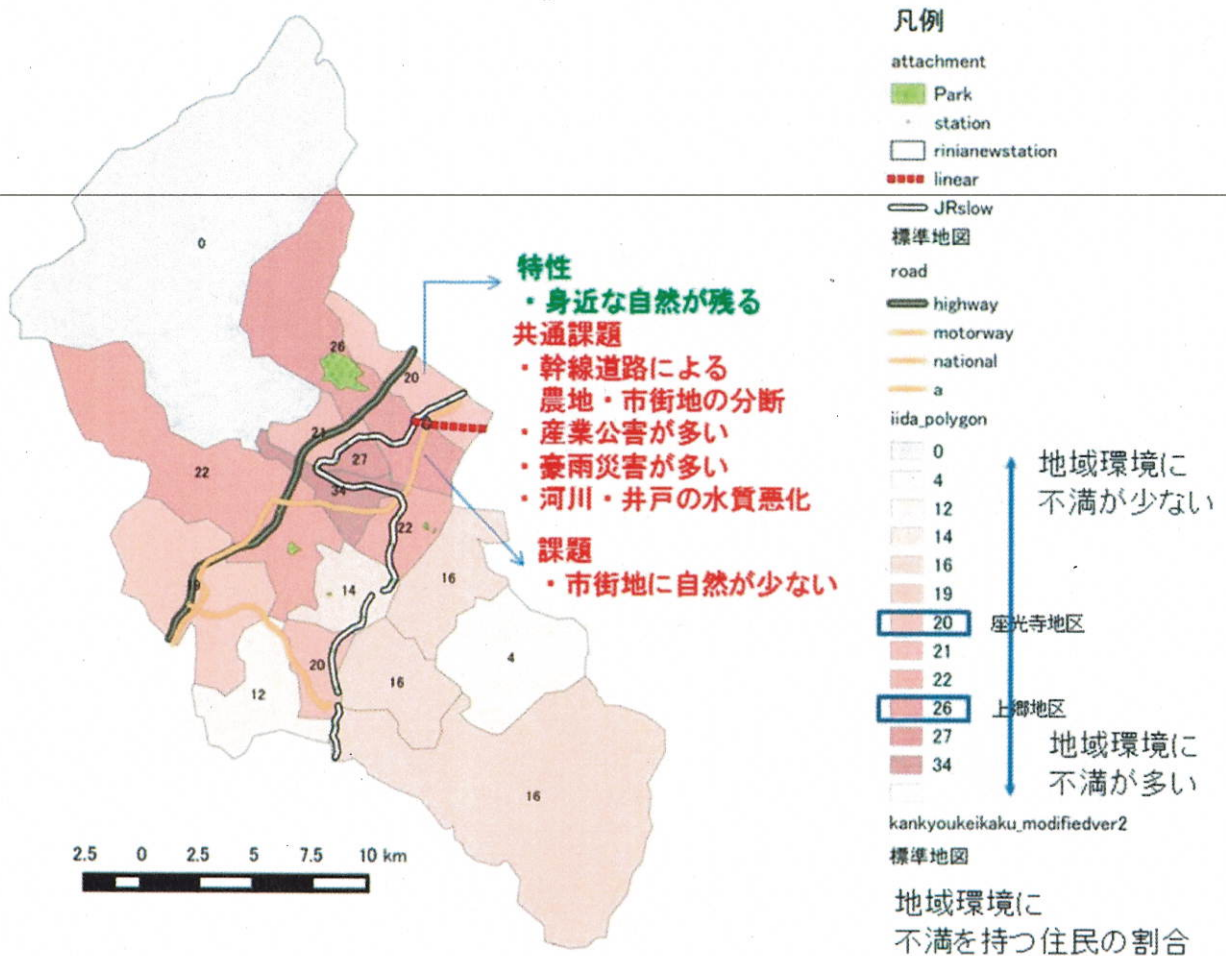
#### ・ 議題 全体的なコンセプトと地域への展開について

～リニア駅のコンセプトとして取り上げる市民の要望・期待～

- アルプスの見える駅
- 自然に地域住民が集う・利用する駅
- 自然環境への開発影響の最小化
- 伊那谷の主要な目的地への交通ネットワーク拠点
- 利用者と地域住民との交流の接点・きっかけを提供する空間

### 3 第3回環境・景観部会の内容（要旨）

<日時：平成28年7月14日（木）15:00～ 会場：飯田市役所 C311～313号会議室>





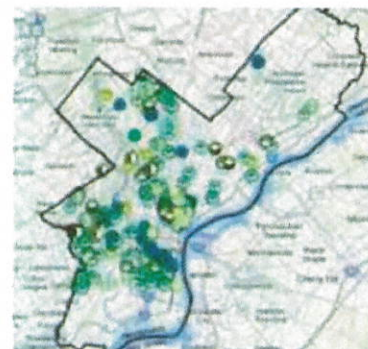
(1) 具体的な 6.5ha の敷地における土地利用と景観

- a. 合理的、スムーズな乗り換え、乗り継ぎのための動線計画  
駐車場、乗降動線、公共交通（バス、タクシー、JR 在来線）
- b. 地域の交通渋滞、減少する地区内の緑地環境の代替え措置
- c. スローで、田園的な伊那谷の玄関スペース  
地域住民と交わる自然広場、伊那谷の景観を望む展望台

(2) コンセプトに答えるための土地利用及び景観的な対応

- a. アルプスが見える駅  
展望台、ペDESTリアンデッキ、段丘林を活用した景観  
散策スペース

グリーンインフラ(緑のインフラ)とは、「緑」を都市のなかに上手に組み込み、その自然のプロセスを活かすことで課題を解決しようとする取組です。従来のインフラ(グレーインフラ)のように特定の目的のためだけに建設され、活用されることとは異なり、トリプルボトムラインである環境、経済、社会の各面の便益が得られるとされています。

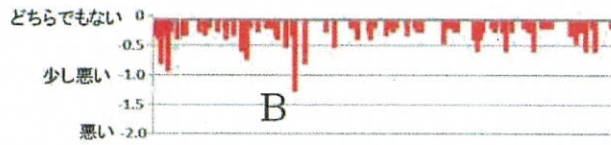




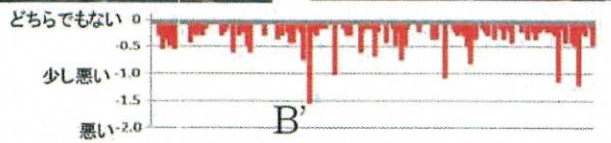
b. 上伊那の広域景観改善事業との連携  
三風モデルによる信州型屋外広告、留意ポイントの共有

**最低評価:パチンコ施設を通過する地点**

7分にBを通過する  
南向きVTR -1.13点



15分にB'を通過する  
北向きVTR -1.47点



**設置イメージ**

